

セトラ通信

理事長 今月の一言*****

FFで3日間、日向にいたので日焼けしてしまいました。そして最終日に夕方には雷雨に遭いびしょ濡れに。いやー、参りました。FF、AH!をお手伝い頂いた皆さん、本当にお疲れ様でした！今年は「明日の神話」誘致のパワーを引き継いだグループで結成した「広島文化会議実行委員会」主催で、平和公園前のとても良い場所に『明日の広場』ブースを設置しました。美術館・ギャラリー情報を提供すると共に、横のステージで、簡単なシンポジウムを開催しました。特に4日の『球場跡地利用・夢・トーク』にはテレビ局各社が押し掛けて賑わうと共に、跡地利用アンケートには3日間合計で約1300件の意見が集まりました。関心の高さが伺えますね。現在アンケートは梶田さんが集計中です。

6月の『ゆかたできん祭』が近づいています。今年は5日～7日。5・6日の夜が歩行者天国になります。内容は例年とほぼ同じで恒例の「おそうじ隊」も本山隊長の下に招集します。そしてAH!でもすっかり定着した「こども広場」も、沢山の方のボランティアを得て今年も開催します。是非ともご協力をお願いします。

さぁー、今月も情報満載のセトラ通信をどうぞご覧下さい。

(NPO法人セトラひろしま理事長 若狭 利康)

..... <目次>

- 【1】グリーンプロジェクト NOW
- 【2】アリスガーデンパフォーマンス広場AH! NOW
- 【3】セトラひろしま芸術文化交流プロジェクト NOW
- 【4】地域環境プロジェクト NOW

【1】グリ-ンプロジェクト NOW

コーヒー専門店さんからドンゴロス数十枚分けていただきました。ドンゴロスとは粗い麻布や、それで作った麻袋のことを言います。ドンゴロス 英語)Dungeryus. あらく という意味です。コーヒーの生豆はこのドンゴロスに詰め込まれて長い旅を経て、日本に輸入されます。一袋30kgホドはあるのでしょうか？この袋の表書きのコピーが実に面白いのです。ポルトガル語？フランス語？スペイン語？スワヒリ語？英語はほとんどありません。簡単なイラストと言語からこの袋のコーヒーの産地に思いをはせます。袋の奥から時々白い生の豆がいくつか落ちこぼれてきたり、品質チェックをしたのであろうか、袋の隅に鋭い破れが有り、それが又荒いジュートヒモでつくろってあったりと、じっくり観察すると、コーヒーの豆の旅が見えてきます。荒い織りのドンゴロスに入ってコーヒーの豆は呼吸をして新鮮です。世界中が喫茶として利用している2大植物のひとつ、アカネ科コーヒーノキ、もうひとつはツバキ科チャノキです。毎日おいしくいただいています。

(はしもと まちこ)

グリ-ンプロジェクト

活動報告

アリスガ-デン

4月15日(水)：ハイビスカスの一部植え付け

定期活動

4月16日(木) アリスガ-デンの花壇等のメンテナンス

9:50集合～12:00

参加者：中電企業ボランティア1名、共同作業所おおぎり4名、トムハウス6名 スタッフ等 合計17名

ハイビスカスの植え込み、除草、花がら摘み、追肥、かん水、清掃活動。

4月中旬になると、どのコンテナも花が満開となり、アリスガ-デンに集う人々ものんびりとした様子に見受けられる。

活動予定

定期活動

アリスガ-デン：

毎月第3木曜日 集合9：45～11：30

アリスガーデン 花の景観づくり & 美化活動

どなたでもボランティア自由参加です。当日アリスガーデンに集合ください。

(個人準備；帽子、タオル、飲料水、あればスコップ、軍手など)

少雨・実施しています。

えびす通り：

毎月第2木曜日 9：00～11：00

えびす通り大型フラワーポット10基の定期手入れ実施

ソ・シャルガ・デナ・倶楽部

暖冬といわれながら4月になってみると気温の変化が大きく、人間様も体調管理が難しい日が続きます。ゴールデンウィークも新型インフルエンザの動向が気になりながら、日々植物の手入れに追われてしまいました。この時期、1日ごとに植物の表情がかわり、成育も早く、毎朝が楽しみです。今月は、まちづくり交流プラザでのフェスタへの参加準備に追われます。作品展テーマは「袋町 ル ポタジェ」野菜や花を、彩りよく展示してみようという試みです。倶楽部の会員が自宅で栽培した野菜などを展示します。上手くできないかも知れませんが、皆はりきっています。ハーブティを無料で提供しますので、おくつろぎにいらしてください。

活動報告

- 4月 8日(水) 定例活動 プラザ前手入れ
ミーティング 13名参加
- 4月22日(水) プラザ前ハンギング植え替え 11名参加
インパチェンス 12基
オリヅルラン 6基(夏の日陰用対策に新しい試みです)

活動予定

- 5月13日(水) 定例活動 午前 袋町小2年生とこげ鉢の植え込み
昨年に引き続きニチニチソウを植えます。
午後 フェスタ展示用寄せ植え製作
- 5月14日(水)・15日(木) 引き続き、フェスタ展示用寄せ植え製作・会場設営
- 5月16日(土)・17日(日) まちづくり市民交流フェスタ 参加
「袋町 ル ポタジェ」をテーマに会員育成の野菜コンテナの展示
寄せ植え作品の展示
ハーブティの提供
活動報告の掲示
- 6月10日(水) 定例活動 デザインコンテナの植え込み
- 7月 8日(水) 定例活動 広島市緑化指導員の矢城由美子先生による
「ワイヤークラフトによる鉢の装飾」講習会

他にもサークル花壇の植え替えの日程は未定です。植え替え作業は、まだまだ続きます。
体調管理に気をつけてご参加下さい。

* ソーシャルガーデナー倶楽部会員募集！ *
「いっしょに、グリーンと花の街づくり！家庭園芸から社会園芸へ！」
会費：1,000円(年)

【2】アリスガーデンパフォーマンス広場 AH! NOW

AH!とは「Alice Hiroshima!」の略で、アリスガーデンパフォーマンス広場として活動しています。

広島「へそ」アリスガーデンで音楽ライブ、ライブペインティングなどのパフォーマンスを提供し、賑わいの創出を目指します。また、お子様連れのご家族が休憩できる「親子休憩所」や「子どもの遊び場」も展開し、都心の憩いの場づくりも目指します。

4/18日のAH! 『うきうきアリス』のレポート

4月18日に開催されたアリスガーデンパフォーマンス広場AH!「うきうきアリス」いかがだったでしょうか？

まずは子育て応援コーナー「ALICE KIDS」をご紹介します。
大人気のハンドメイド雑貨コーナーです。



手作りならではの風合いがとても可愛いですね！

その隣には、遊んでいきんちゃいコーナーです。



ちょうど遊びやすい天気だったのではないのでしょうか。



ステージでは、広島きらきら母交響楽団さんの演奏と...



文教女子大学のぶんこさんによる絵本の読み聞かせをおこないました。子どもたちも聞き入っているようです！
以上が「ALICE KIDS」でした

続いて、ストリートミュージシャンのステージが始まりです！！



コンクリートさん



Teddy Wills さん



hikaru さん



門傳将道さん



yune さん



森恵さん

ラストを飾ったのはBlue lab.さんによるライブペインティングです。



今回のアリスガーデンパフォーマンス広場AH!も無事に終わることができました。

ありがとうございました💜👍 (報告：梶田良花)

《イベント・データ》

AH! Presents うきうきアリス

2009.4.18sat 11:00~20:30 @中区アリスガーデン 天候：晴れ 来場者数：約9,000人

主催：アリスガーデンパフォーマンス広場事業実行委員会

企画・制作：AH! STATION 協賛：ステージユニオン広島

ステージ

13:20~ ママさんオーケストラ！広島きらきら母交響楽団・有志室内楽チーム

13:50~ ぶんこ（本の読み聞かせなど）

14:40~ コンクリート

15:20~ Teddy Wills

16:00~ hikaru

16:40~ 門田将道

17:20~ yune（弾き語り）

18:00~ 森恵（弾き語り）

19:00~ ライブペインティング

子育て応援コーナー（11:00~15:00）

・おっぱい・おむつコーナー ・遊んでいきんちゃんコーナー（口に入っても安心な小麦粉ねんどをつかって遊ぼう！）

協力：子育ておたがいさま～ズ、広島文教女子大学パピママ応援団「ぶんこ」他

ママさん作家によるハンドメイド雑貨雑貨コーナー（11:00~15:00）

・キャラママ屋 ・sakusakusaku ・stitch 2house ・D's ・帽子やさん <http://nikosho.exblog.jp/>

アートブース by blue lab.

・ライブペインティング・作品の展示等 ・アート出展 by Ueno

5月のAH!『アリスキッズ』は、フラワー期間4/5日に、多くの来場者を迎え、盛大にも無事終了しました。その様子は、次号通信でレポートいたします。

AH!は今年度から、時間配分を明確化したプログラムで展開しています🎉

11:00～15:00までは子育て応援の時間帯とし、

お子様連れのご家族が楽しみながら寛げる憩いの場を提供していきます🌸

15:00～20:00までは大人・若者の時間帯とし、音楽ライブやライブペイントを繰り広げていきます🎨🎵

今まで以上に充実したイベントしていきたいと思っておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

今回のAH!は7月19日(日)!! 皆様のお越しをお待ちしております🌿

AH!の最新情報は、AH!公式ブログ・「AH!情報局」をご覧ください!

<http://ahinfo.blog39.fc2.com/>

【3】セトラひろしま芸術文化交流プロジェクト NOW

あの岡本太郎「明日の神話」広島誘致会の活動の流れから、広島の新たな市民文化創造の場として旧球場跡地に「明日の広場」を提案しよう!というプロジェクトが始まりました。そのための組織として「広島文化会議」の設立が準備されています。

「明日の広場」は、広島百年の計、旧球場跡地及び周辺地の今後の利用に係わるイベント展開等、ソフト面での構想提案に限らず、大きくこれからの広島の文化をどう捉えるかという議論とも重なり、世界的な文化フェスティバルの開催等も視野に入れて提案しようというものです。

さて、5月、フラワーフェスティバルで、いよいよアクションが起こりました。

以下、そのレポートです。

新たな市民文化創造の場 明日の広場

「明日の広場」のロゴ



*マスコミにも大きく報道されました!



*広島文化会議のロゴ・明日に向かう矢印を表しています。

広島文化シーンのミニアンテナショップ

* 広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館、広島市内3美術館の情報や、ギャラリーマップ、ライブハウスマップ、展覧会、コンサート情報を配布したり、アーティスト・オリジナルグッズや、「HIROSHIMA 1958 エマニュエル・リヴァ広島展」関連のグッズや本、岡本太郎「明日の神話」誘致活動関連のグッズなど、広島文化シーンのミニアンテナショップを目指しました。

文化情報コーナー・アートグッズコーナー



資料パネル展示

* 「明日の広場」プレゼン関係、「旧球場跡地利用」関係の資料パネルを作成し、展示しました。

アーティストによるワークショップ・コーナー

若手アーティストによる一般来場者を対象としたオリジナル作品づくりコーナー。

「明日の童話」のキャラクターである「青桐」のペンダントづくりは人気の的でした。



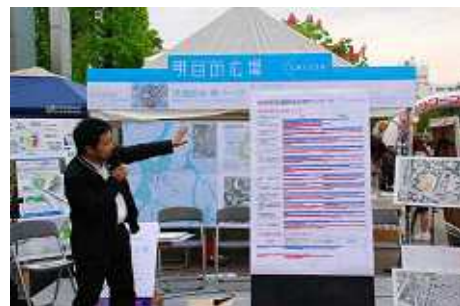
Blue lab.によるライブペインティング

3日・4日の2日間かけて巨大なパネルに絵が描かれ行き交う人々が見入っていました。

「球場跡地・夢・アンケート」の実施



旧球場跡地利用アンケートのお願い



アンケート集計パネルの途中解説

* なんと3日間で、1,300人のアンケートをゲット、市民の関心の高さに驚きました。アンケート結果はアンケート集計パネルでその場で分かるように工夫しました。「市民広場」や「スポーツ施設」、それに「子どもの遊び場」に対する要望が多いことが分かりました。また「折り鶴展示施設」については、「あってもいいけど、規模はそんなに大きくなくてもいいんじゃない!」という意見が多かったと思います。集まったデータの詳しい分析結果は、後日まとめられ広島市へ提出される予定です。それにしても、アンケート担当のスタッフのみなさんご苦労様でした。もちろん、アンケートに協力いただいた方にも..。

トーク・イベント

ブーステント横・オープンスペースでは、

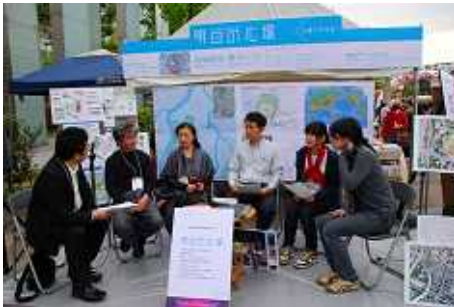
「明日の広場とは？」 3日、16:00～17:30

“しゃべらー”：古池周文（広島市民球場跡地利用市民研究会）石丸良道（広島文化会議）

榊記彌栄（箏曲演奏家）「明日の童話」JAMMSのメンバー、“まとめ人”：松田弘（広島文化会議）

*世界の「祭り場」として、常に何かを伝えつづけていく広場のことや、そこで遊ぶ未来の子ども達のことを語られました。

「明日の広場とは？」トーク（5月3日）



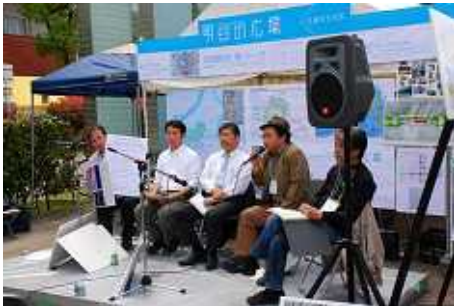
「球場跡地・夢・トーク」 “球場跡地-どうしたい？ほら語ってみんない！” 4日、13:00～16:30

“しゃべらー”：牛谷陽一（建築家）東琢磨（著述業・文化活動家）古池周文（広島市民球場跡地利用市民研究会）石丸良道（広島文化会議）“まとめ人”：若狭利康（NPO法人セトラひろしま）

*現状の広島市案の説明、「折り鶴施設」に対する意見、跡地利用に対しての夢など...アンケート結果の途中分析もふまえながら、参加者それぞれの視点で熱く語られました。たんに広島内の内輪話だけでなく、ひろく県外、国外の人の視点にたった議論の必要性や、市民による継続的な議論の場の必要性も語られました。

球場跡地・夢・トーク（5月4日）

夢トークとライブペインティング



翌日の中国新聞には、大きく紙面に取り上げられました。

パフォーマンス



コンテンポラリー・ダンス by 中島由美子 (5月4日)



エア-ORIZURU by 沖中志帆 (5月4日)

*5月4日は、「球場跡地・夢・トーク」と並行してパフォーマンスが行われました。中島由美子さんのコンテンポラリー・ダンスは、途中、売れない?演歌歌手風の歌姫になったり、来場者の意表をつき、完全に会場の空気を異化してしまいました。そして風のごとく雑踏のなかに消え去りました。おみごと!

それとコントラストをなすように、沖中志帆さんの「エア-折り鶴」を雑踏の中、一点すべてが静止した、周囲と隔絶した沈黙と癒し空間を現出しました。おみごと!

「明日の童話」

期間中、市立大学生を中心とした若手アーティストグループ『JAMM S』による、参加型アート・プロジェクト『明日の童話』が進行しました。

このプロジェクトは、子どもたちや一般来場者の参加を得て、平和公園や旧球場跡地一帯を散策しながら、インスピレーションという素材を集め、まだ見ぬ未来の物語を紡いでいこうというものであり、ひろしまの街に思いを馳せ、未来や過去にあったかもしれない童話を創造しようというものです。

5日の午前中、参加者が集まり、さっそく「時空の探検」へ出かけました。そして夕方、いよいよ集めた言葉やイメージをストーリーにしようとしたところ、突然の雨!プロジェクトはとりあえず中断しました。でもこのプロジェクトは、今後引き続いて展開するらしく、6月には、カフェ「アイナハイナ」という所で、何かの発表(ストーリーテリング)があるみたいです。乞うご期待!

*詳しくは...「明日の童話」~まだ見ぬ未来を創造してみる~by JAMM S ブログ...<http://jamm09.blog42.fc2.com/>



「明日の童話」時空探検 (5月5日)



「明日の童話」ストーリーづくり (5月5日~雨で中断)

(以上報告: 石丸良道)

《イベント・データ》

フラワーフェスティバル 新たな市民文化創造の場 「明日の広場」

ひろしまの「明日の文化」の輝きを願い、ジャンルを超えた情熱的なアートムーブメントをアピール。

日時：平成21年5月3日、4日、5日 10:00~18:00

場所：平和公園ブロック2 公園本部横 土屋病院北側

主催団体：広島文化会議実行委員会（明日の広場のためのプロジェクト）

協賛：広島市中央部商店街振興組合連合会、ステージユニオン広島、ギャラリーG

協力：市民球場跡地利用検討協議会、市民球場跡地利用を考える市民連絡会議、ODC（音楽大好きクラブ）、ART PROMOTION HIROSHIMA、JAMM S、Blue lab. NPO法人セトラひろしま

【広島ローカル文化・コラム】

『広島市都心～ライブ文化形成について』

石丸良道（NPO法人セトラひろしま）

広島の「明日の文化」を思い描くとき、ライブハウスやショップ、ストアで行なわれる広島市都心エリアにおけるライブ文化の動向は、重要なファクターのひとつである。

以下、広島市都心エリアにおけるライブ文化の現状と将来の可能性について考えてみたい。

インストアライブの現状

広島市都心部において、インストアライブは、近年それなりに頻繁に行なわれるようになったといえる。パブ、バー、ホテル、デパート、ショールーム、洋風居酒屋、レストラン、カフェ、音楽喫茶、カルチャー教室、画廊、ケーキ屋さん、ビアホール、美容室、郵便局、小売店、神社、楽器店等の場所で、内容は、各場所のテイストや雰囲気に合わせて工夫された企画が多く、ライブハウスとは一味違った魅力がある。ジャンルの的には大音量で機材準備が必要となるロック系のバンド演奏が少なく、代わって歌やアコースティックな楽器を使用した、クラシック、ジャズ、ワールドミュージック、フォーク、邦楽といったジャンルが多く、ライブハウスと住み分けができていっているように思える。

ライブは定期的、不定期に開催されているが、定期的なシリーズ展開は少ない。しかもアーティスト側からの持込企画が多く、ショップやストア側が主催・企画しているケースが少ない。アーティストはここででもチケットの販売に頭を悩ますことになり、長続きがしない企画が多くなる。この点、単にお店の雰囲気づくりやステータスづくりといううたい文句だけでなく、実利的な販促に利する仕掛けとか、店側からの積極的な取り組みが期待される。

夜に行なわれるライブの場合、飲食店やホテル等でのライブが主となるが、小売店やショールームなどで、ショップが閉まる直前の夕方時間、ラウンジかロビーで30分～40分程度の短いライブを行なえば、顧客は、ライブ前に買い物や待ち合わせをし、ライブを聴いた後、夜の街へという行動パターンも定着化するのではないだろうか。

料金システムについては、各場所や主催のかたちで違うが、お店主催のライブの場合、無料か、できるだけ低い料金が望ましい。アーティスト謝礼を確保する料金収入だけにとどめ、後の経費は、お店の販促費用でまかなうという姿勢が最低条件であろう。

団塊の世代等の夜の過ごし方に、さまざまな趣向を凝らしたライブを提供するなど、インストアライブはこれから面白い動きになっていくだろう。

以下、ライブ文化活性化に資すると思われるインストアライブのあり方について提案する。

インストアライブによるライブ文化促進～キャンペーン的プロモーションの提案

～音楽やアートに触れられるスポット増殖計画～

「インストアカルチャーライブ・プロジェクト（仮称）」* Shop Meets Culture (smc)

・ Shop Meets Music (smm) ・ Shop Meets Art (sma)

《内容》

・広島市都心に位置する小売店、飲食店などでのコンサートライブ及び展覧会企画の実施提案と企画のキャンペーン的プロモーション。

《課題》

- ・プロジェクト参加店舗とアーティストとのマッチングシステムの開発。
- ・店舗にとっては顧客サービスあるいは新規顧客の開拓ツールとして活用できるコンテンツの提供。
- ・鑑賞者へは、プロジェクト共通クーポン券の発行等、特典の付与。
- ・各インストアカルチャー企画を全体的に告知する共通広報システムの確立。

ライブハウスの現状

ライブハウスについて言うと、一昔前は、ロックやジャズが(ただしロックが圧倒的に多い)演奏され、音楽を楽しむ場所として一般にイメージされていた。最近では、ロックやジャズも細分化し、またクラシックやワールドミュージック、ヒップポップDJ等、扱うジャンルは幅ひろく、ライブを楽しむお客の年齢層、趣味等の多様化に対応して独自のカラーを打ち出すライブハウスも見られるようになった。ライブハウスも拡散と多様化の時代と言える。

ライブハウス自体の数も増えているという。広島市は、100万人あたりのライブハウス数で、東京都、福岡市、大阪市、神戸市、名古屋市、京都市に続き、全国7位(2007年データ)である。

しかし、お客が増えているとは言いがたい。一般の市民には、先述のように、まだまだその存在が知られていない。ライブハウスに行く習慣がついていない。継続的に行く客が少ないし、お客も2~3年で入れ替わっている場合が多い。少ないパイの取り合いと言え、個々のハウスの経営は結構苦しいと聞く。

ライブハウスに出演するアーティストは、発表会的ライブをするアマチュアバンドから、プロのアーティストまで多様である。最近、ライブハウス数も増えたせいか、技量の未熟なアマチュアバンドでも比較的容易にライブハウスのステージ立つことができるようになり、ライブのレベルが落ちたと嘆く経営者もいる。また老舗のライブハウスでは、以前と比べ、お客の取れる東京からのアーティストのライブ回数が増え、地元アーティストのライブが減ってきているという。

ライブハウスのシステムは各ハウスによってさまざまだが、多くのライブハウスで、出演ミュージシャンにノルマを課している。そのシステムは「pay to play」(「演奏のための支払い」)である。ハウスバンドを設け、それを売りにしているところもあるが、数は少なく、レンタルホール的な運営が多いのが実態である。またライブハウスが主催し、独自のイベントを打つハウスもあるが、頻度、数ともに少ない。これでは、アーティストも育たないし、独自の音楽ムーブメントを起こすこともできない。

言えることは、ライブ文化シーンにとって、ライブハウスの活動の現状が、それぞれ点的な活動であり、点と点を結んだ面というか、他所から見て分かりやすいスタイルやムーブメントを形成していないということだ。これは他の文化シーンでも言えることだが、個々の活動を有機的に関係づけ、構造化する「文化統辞論的装置」が、つまり、個々の活動という「言葉」を、うまく組み合わせて、全体としてひとつのメッセージをもった文章として表現することが、この街には欠けている。つまりここでも、文化シーンを見える形(都市の一つのスタイルとして)として特徴づけ、売り出し、アピールするイメージ・プロモーション戦略が欠けている。

ライブ文化を通した広島文化発信の提案

<ライブハウス活性化のための文化統辞論的戦略~そのキャンペーン的プロモーションの提案>

現状を脱するためには、意識的に強化されるべき、推進力のあるムーブメントを起こす必要があるだろう。また、広島市都心部におけるライブ文化促進には、特に、観光客やビジターを意識することが最重要とされる。観光客やビジターにとって、この街でわざわざライブハウスにいこうとする動機があるだろうか。ミニ東京化したライブを見てもつまらない話である。観光客やビジターは、「他所では観ることができないもの」が見たいのである。広島「自生」のライブムーブメントを起こし、全国的に知れわたること。これが突破口になる。

そのための戦略的な仕掛けとして、あえて強調・特化すべきジャンルや表現傾向にスポットをあて、ムーブメントを起こす必要がある。以下は、考えられるライブ文化ムーブメントのジャンルである。

《強調・特化すべきライブ文化ムーブメント》

広島フォークや広島ロックムーブメントの復活・再生

ストリートフォークや「おやじバンド」を巻き込み、広島フォーク村伝統の復活など

神楽などローカル芸能の要素を取り入れた新広島ローカル芸能ムーブメント

神楽セッション、神楽寄席、神楽常設館公演など、またこの要素が影響して誕生するクラブシーン等におけるダンススタイル・「EBISU DANSE」とか「UZUME DANSE」など。

上記 と が相互に影響し合って生まれるトランス・ワールドミュージック的なムーブメント

広島地球文化村の誕生 「明日の広場」 「世界芸術祭」

《課題》

ライブ文化ムーブメントを統辞論的にプロモーションする装置・システムの開発

<アーティストを育てる>

ハウス主催のイベントの活性化、ハウス間のアーティスト・シェア制度、統合的ポータルサイト構築によるアーティスト・プロモーション支援(ライブ情報、ウェブチケットサロン、ブログ、音楽配信等も含む)

<お客を育てる>

割引券等顧客の優遇制度や、ライブ鑑賞共通券等の発行

【4】地域環境プロジェクト NOW

今年のフラワーフェスティバルは、天気にも恵まれたかに思えたが、最終日、夕刻からの雨は例年の期待に違わずといえようか。アリスガーデンでのAHステーション・ライブも若いスタッフ中心に雨の中、悪戦苦闘しつつも的確に対処して、滞りなく運営しているのを間近にし、とても心強く感じました。雨に打たれ、いやな顔ひとつ見せず、嬉々として動いている様子は、ナント馬鹿な連中が集まったものと、あきれるばかりです。いや、セトラは凄いと、つくづく感心した一日でした。

袋町公園の美化活動は何故か好天に恵まれることが多く、5月7日で累計170回になりました。6月中旬で、4周年を迎えます。

先日、“広島市中央部地区振興の会”から、我々の活動を評価いただき、助成金を頂戴しました。これを機にメンバーを殖やし、活動資金を確保して活動エリアを徐々に広げていこうと思います。みなさん、引き続き応援よろしくお祈りします。
(本山)

活動報告(4月)

袋町公園美化・定期活動 活動は計5回 花壇の手入れやゴミの収集、除草を行いました。

道の里親制度 袋町公園周辺市道の清掃活動を5回行いました。

並木通り美化活動 歩道の清掃を1回行いました。



活動予定(5・6月)

袋町公園美化活動(公園の清掃と除草、花壇の手入れ・周辺市道の清掃) 活動時間 10:00~11:00

日時&場所: 毎週木曜日 10時 袋町公園集合

5月 7日、14日、**21日**、28日 * 21日はバンジーの抜き取りと花壇の掘り起こしを行います。

6月 **4日**、11日、18日、25日 * 4日は夏の花ニチニチソウの植え込みです。

ホームページリニューアルなる!

<http://www.cetra.jp/npo/>

また! 併せてAH! 公式ブログも!

<http://ahinfo.blog39.fc2.com/>

是非訪ねてみてください!!

* 会員のみなさまへ! *

現在の会員数: 正会員 32人 協力会員 47人

会員の仲間を募っています。

正会員1口: 5,000円 協力会員1口: 1,000円 現在キャンペーン中! 入会金なんと免除!

「セトラ通信」編集部

〒730-0037 広島市中区中町1-27 久保広ハイツ7F e mail: office-npo@cetra.jp

Copyright(C)2005 NPO CETRA HIROSHIMA All rights reserved.

新しいメールアドレスになりました!

NPO法人セトラひろしまのウェブサイト

<http://www.cetra.jp/npo/>

広島市中央部商店街振興組合連合会のサイト

<http://www.chushinren.jp/>

URLが変わりました! お気に入りの変更をお願いします。

Save the earth

<http://pr.mail.yahoo.co.jp/ondanka/>

NPO法人セトラひろしま